令和　5　年度　公民　科　シラバス

科　目	公共	単位数	2	履修学年・クラス（講座）	2年
使用教科書	高等学校　公共（教育図書）　　新高等地図（東京書籍）				
補助教材等	テーマ別資料　公共（とうほう）				

1　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

(3) よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2　学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○自分をとりまく社会の変化と、それが自分にどのように影響を及ぼすのかを考えよう。
○予習を勧めます。授業前に教科書を読んでおいてください。
○学び、「自分なりに消化するコツ」をつけられるように工夫しよう。

3　学習評価

評価の観点	(a)知識・技能	(b)思考・判断・表現	(c)主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	事象についての基本的な知識を身に付け、相互の関連性や課題を理解することができたか。	諸事象について、背景を踏まえ、社会的な見方・考え方から考察することができたか。	諸事象について、自らの生活や社会に結び付けながら取り組めたか。自らの学習について、自己調整する行動がとれたか。
主な評価方法	小テスト	レポート 授業での成果物	振り返りシート 単元テスト

4　学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単　元	教　　材	時数	学　習　内　容	評　価　規　準
4	はじめに 公共と人	教科書、 地図帳、 資料集	20	学び方を学ぶ なぜ人は集団や社会をつくるのか なぜ自由・正義は集団に必要か	別紙「評価の観点の趣旨」により (a)小テスト得点率 (b)成果物の完成度 (c)振り返りシートの記述量 単元テストの得点率 を加味して複合的に評価する
5	公共と人 公共と倫理			「公共空間」とはなにか 先人たちの思考はどう生きているか 個の優先か、全体の優先か 何を自由とし、何を正義とするか 自由と正義のバランスをどうとるか	

6	公共と倫理 公共の基本原理			限りある財をどのように分配するか 意見が分かれた時どう決めるべきか 民主主義とはどんなシステムか	
7	公共の基本原理	教科書 地図帳 資料集	28	憲法とはなにか 基本的人権はどう保障されるべきか 社会は平等・公平か否か	
8	法			法はなぜあるのか 契約は何を交換するのか	
9	法 政治			権利と義務はどう対応するのか 成年と未成年の契約とは 日本の司法はどんなしくみか なぜ支持しない人が当選するのか 本当に投票しても変わらないのか なぜ首相を国民が選べないのか	
10	政治 経済			多数決は本当にただしいのか なぜ国連は戦争を防げないのか 日本国憲法をどう考えるか 将来どうやってお金を得るか 日本は「働きやすい」のか否か	
11	経済			労働者の権利はどう保障されるか なぜ私たちは税金を払うのか 日本の財政は「健全」か否か	
12	経済	教科書 地図帳 資料集	22	少子高齢社会にどう対策すべきか 転売は可か不可か お金は社会をどうかたちづくるか 国際経済において日本はどう動くか	
1	経済			多文化を受容し地球規模で共存するために、どのような取り組みが必要か	
2 3				探求課題	